

これは、
真実の物語である。

1916年——1年9ヶ月に及ぶ、極寒の南氷洋漂流から

全隊員28名を生還させた男

サー・アーネスト・シャクルトン。

勇気と決断に迫られた時

世界は、この男を思い出す……。

SHACKLETON'S
ANTARCTIC
ADVENTURE

The greatest survival story of all time.

シャクルトン奇跡の生還



日本語吹替：石坂浩二他

監督：ジョージ・バトラー

製作：ホワイト・マウンテン・フィルムス & NOVA / WGBH Boston

配給：株式会社さらい

提供：モルガン・スタンレー

2001年/アメリカ作品/上映時間40分

全天周映画
(大型ドーム映像)



プラネタリウムのある科学館

倉敷科学センター

上映期間：1月14日 ~ 7月4日

南極の冬の長い夜...写真家のフラッシュが、ひとつの実話を呼び起こす。

全天周映画 (大型ドーム映像) シャクルトン奇跡の生還

求む男子。至難の旅。僅かな報酬。極寒。暗黒の長い日々。絶えざる危険。生還の保証なし。成功の暁には名誉と賞賛を得る。

——南極探検隊員を募るシャクルトンの求人広告より

貴重なフィルムと南極ロケで、勇気と苦難の旅を鮮やかに再現。

20世紀初頭、1年9カ月もの極寒の南氷洋漂流から、全隊員28名を生還させた驚異の冒険家があった。南極点踏破のアムゼンやスコットの陰で後世の指導者たちの真の尊敬を集める男、アーネスト・シャクルトン。その類稀なリーダーシップで成し遂げた史上最高の《奇跡》がいま、臨場感あふれる大型スクリーンで甦る！同行した写真家による貴重な映像と、漂流経路を辿る2度の南極ロケが、もっとも苛酷な大自然と闘い抜いた男の真実に迫る、感動のドキュメンタリー！



Frank Hurley Out in the blizzard at Cape Denison adjacent to winter quarters c.1913 National Gallery of Australia, Canberra Kodak (Australasia) Pty Ltd Fund, 1992.

28名全員の生還を誓った時、シャクルトンの真の冒険が始まった。

1914年、シャクルトン隊は徒歩による南極大陸初横断を目指し、最新鋭船エンデュランス号で旅立った。しかし、最前線の捕鯨基地を出発した直後、船は予想外の氷山群に閉じ込められてしまう。マイナス数十度の外気、食糧の欠乏、重労働と闘い続けること10カ月。遂に船が沈み始め、隊員たちの疲労が極限に達した時、シャクルトンは断固たる態度で宣言した。「新たな目標は全員が無事祖国に生還することである」——ここに世界中が驚嘆した《奇跡》の"冒険"が始まった。



INFORMATION

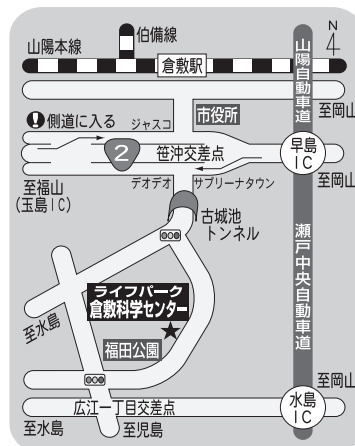
開館時間 9:00~17:00
休館日 月曜、祝日、年末年始
観覧料

区分	金額	個人	団体 (20人以上)
展示室	おとな	400円	320円
	子ども (高校生以下)	100円	80円
プラネタリウム	おとな	400円	320円
	子ども (高校生以下)	200円	160円
全天周映画	おとな	400円	320円
	子ども (高校生以下)	200円	160円
プラネタリウム + 全天周映画	おとな	600円	480円
	子ども (高校生以下)	300円	240円

全天周映画上映開始時刻
火~金曜 14:40~
土・日・春休み期間中 10:00~ 12:20~ 14:40~
全天周映画休演日 2/10, 6/15, 16

プラネタリウム上映開始時刻
火~金曜 15:50~
土・日・春休み期間中 11:10~ 13:30~ 15:50~
プラネタリウム休演日 2/10, 24, 26
6/15, 16, 7/6, 8

アクセス
・国道2号線 笹沖交差点から車で15分
(古城池トンネルを抜けて最初の信号を左折)
・瀬戸中央自動車道 水島ICから車で10分
(広江交差点で右折後、最初の信号を右折)



ライフパーク倉敷
倉敷科学センター

〒712-8046 倉敷市福田町古新田940ライフパーク倉敷内(福田公園北隣)
TEL (086)454-0300 / FAX (086)454-0305